

事業報告書

令和 7 年度
(2025 年度)

社会福祉法人 清 風 会

事業報告書 目次

1. 法人全般について・・・・・・・・・・ 1～2
2. 特別養護老人ホーム（従来型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・ 3～5
 - ◎行事实績表・・・・・・・・・・ 6
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・ 7
3. 短期入所事業（従来型）
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・ 8
4. 特別養護老人ホーム（ユニット型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・ 9
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・ 10
 - ◎行事報告・・・・・・・・・・ 11
5. 看護部門（特養・ユニット・短期）・・・・ 12～15
6. 津奈木町デイサービスセンター
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・ 16
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・ 17
 - ◎行事報告・・・・・・・・・・ 18
6. 調理栄養部事業報告・・・・・・・・ 19
7. 介護福祉サービスセンター（居宅介護支援事業）
 - ◎事業報告書・・・・・・・・・・ 20
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・ 21
8. グループホーム
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・ 22
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・ 23
9. 各種施設運営管理報告、研修報告書・・・・ 24

令和7年度 事業報告

社会福祉法人 清風会

あけぼの苑

【実施事業】

- * 特別養護老人ホーム（従来型）35床
- * 特別養護老人ホーム（ユニット型）30床
- * 短期入所生活介護事業（ショートステイ）11床
- * 通所介護事業（デイサービス）定員30人
- * 居宅介護支援事業 介護支援専門員3人
- * 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）18床

1. 全般について

「地域福祉の拠点となって」「その人がその人らしく生きるために」「喜び、安らぎ、生きがいをあたえる」の法人理念に基づき、事業の健全な運営を図るよう努めた。また、社会資源としての自覚を持ち、多様なサービスを提供し、住み慣れた生活を続けるための支援を行い、真の利用者ニーズの把握に努め、対応できる質の高いサービス提供に努めた。

不足する福祉人材確保については、介護職員及び看護職員ともに十分な雇用の安定には至らなかった。感染症については、蔓延防止に努めていたが、従来型特養及びデイサービスで、ノロウィルスのクラスターとなり、数日間休業した。職員研修についても、集合型で苑内研修を実施し、さらに外部研修に積極的に参加した。災害時のBCP体制の確立では、BCPの見直しを行い、感染症発生時及び自然災害発生時の危機管理体制の強化を図った。

2. 職員の勤務条件の改善と資質の向上

- ① 職員の給与体系については、定期的な昇給を行った。また、令和7年度「介護人材確保・職場環境改善支援補助金」「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援補助金」を申請し、職員に支給した。
- ② 職員の質の向上を目的として、年間研修計画に沿い、集合型で6回の苑内研修を行った。また、各種外部研修にも積極的に参加し、職員の質の向上を図った。
介護福祉士の合格者1名に対して、喀痰吸引研修を終了し、登録手続きした。
- ③ 労働環境の検証として、事業所ごとに24時間体制での勤務時間割りや、勤務パターン、業務内容や手順等について業務改善案を出し合い、働きやすい職場づく

りに努めた。また、福祉人材確保のために、芦北高校福祉科の生徒の現場実習や夏休みの有償ボランティアを受け入れた。

3. 固定資産の取得及び物品の購入

その他の固定資産

①	器具及び備品	電動ベッド（特養、3 モーター）	1 1 台
②	器具及び備品	エアコン（GH居室 1 台、食堂 1 台）	2 台
③	器具及び備品	酸性水生成装置（特養 1 台、厨房 1 台）	2 台
④	車両運搬具	車いす用軽自動車（デイ、タント）	1 台

4. 施設運営の合理化について

- ① 各職機関との連絡を充実させ、また管理者及び責任者等の指示、指導を徹底させることで施設運営の円滑化が図られ、日常の介護業務、各種委員会、利用者の健康管理、給食内容の向上等に努力した。
- ② 会計の決算については別紙のとおりであるが、全体の資産状況については、資産額 1,144,277,013 円、負債額 32,707,555 円、純財産額 1,111,569,458 円となった。物価の高騰により経費が増額したが、熊本県の物価高騰支援金及び、サービス継続支援補助金（食品）を申請し、経費に充てた。

5. 防災体制の充実強化について

- ① 消防機関はもとより、役場、地域住民等とも日常の連絡を密にし、施設の構造、入居者の実態を認識してもらうよう努めるとともに、避難、消火、避難後の援護等が円滑に行える協力体制を図った。また、防災対策委員会にて、班ごとに業務を確認し、地震、風水害、土砂災害についての対策も検討した。
- ② 消防計画書をもとに、年 2 回総合防災訓練を実施し、消防署立ち合いのもと、指導を受けた。また、夜間の通報訓練を実施した。
- ③ 防火設備の管理については、管理業者と点検契約を締結し、年 2 回の定期点検を実施し、常時防火設備の保全と避難誘導経路の確保に努めた。
- ④ BCP（事業継続計画）については、災害時及び感染症蔓延時ごとに各事業所にて適宜見直しを行った。

令和 7 年度 事業報告書

1. 【生活相談業務】

- ① 今年度の退所者は 10 名であった。内訳として入院による医療機関での死亡者 4 名、長期入院による退所者 1 名であった。（のちに岡部病院介護医療院へ転所）施設での死亡者は 5 名であったが、その内 4 名を看取り介護行った。（看取り期間は計 66 日間）

入所にあたっては要介護 3 が 2 名、要介護 4 が 2 名、要介護 5 が 5 名と、芦北町からの要請で措置入所の方（要介護 3）を 1 名の計 10 名受け入れた。措置入所による 36 床の期間は 36 日間だった。

今年度も家族都合により入所までに期間が空いてしまい、去年同様入所がスムーズにいかない事があった。また今年度は入居者（ショート利用者も）の入院が多く、入院による空床期間が 463 日間あり、退所から入所までの空白期間が 227 日間と稼働率低下への影響があった。入所までの支援や退所後の支援については前年度同様、入居者・家族の思いや要望を取り入れて、入所後や退所後に不安なく安心して過ごすことができるように支援行っていた。

- ② 面会については、基本玄関や洗濯室前で面会行ってもらい、地域周辺の感染症が多い時期は、時間制限や 2 メートル程距離を開けたりして、感染予防に努めながら面会できるようにしていた。また状態が思わしくない方や看取りの入居者については居室で面会をしてもらっていた。外出については感染症の流行時期以外は外出できるようにしていたが、面会・外出による感染症罹患者はいなかった。また、外泊については希望される家族はいなかった。敬老会や秋祭り、運動会は特養のみで開催したが、苑外行事についてはコロナ禍以前のような活動が実施できた。
- ③ 今年度は入居者への感染症がコロナ感染利用者 1 名、職員 3 名と、インフルエンザは利用者ではいなかったが職員が 1 名罹患した。新型コロナについては前年度よりは少なかったが、12 月にショート利用者が利用中にノロウイルス発症された為、入居者に感染し入居者・ショート利用者 21 名と職員 6 名に感染しクラスター感染となってしまった。新型コロナ感染については、適切な初期対応で蔓延しなかったが、ノロウイルスについては初期対応がきちんとできずにクラスターとなってしまった。改めて感染症発生した時の初期対応とガウンテクニックの重要性を痛感した。1 月にもショート利用者が利用中にノロウイルス発症したが、適切な初期対応・ガウンテクニックにより、感染拡大を防ぐことができた。
- 今回のノロウイルス感染クラスターの経験を忘れず、感染予防に活かせるようにしたい。

2. 【介護支援専門員】

①施設サービス計画書については、ADL表の活用と定期的にあセスメントを行い、入居者の状態の変化に合わせた支援や支援内容の変更を行い、家族の意向も取り入れたサービス計画書を作成することができた。サービス計画書作成後は毎月ADL状況の評価、3カ月後にはケア会議の中でモニタリングを行い、必要に応じ変更等は行っていた。家族が参加しての担当者会議も再開し、電話や面会で聞けなかったことを会議の中で生の声で聴くことができて、ケアの中にも生かすことができた。

他職種間との連携では、介護・看護職間で同じ方向性で目標達成に取り組むことができ、状態変化時はその都度連絡・報告行うことで、お互いが共通認識を持ってケアに取り組むことができた。

②4名の方に看取りケアを行った。介護・看護間の連携や家族への連絡等支援計画に沿った支援を介護・看護職員が実行してくれたことで、家族に安心してもらい、納得できる最後を迎えられたのではと思う。退所された後には全ての家族から「あけぼの苑で良かった。」との感謝の言葉を頂いた。

④今年度も普段の関りの中で感じた入居者の思い、面会や担当者会議などで話された家族の願いや思いを実現・実行できるような計画の立案を心掛けることが出来た。家族の多くの希望では外出や外泊をさせたいとの希望が最も多いので、その時の感染状況もあるが、できる限り叶えられるようにスタッフと協力して支援していきたいと思う。

3. 【介護業務】

今年度の目標に「利用者が安心感を得られるよう個別ケアに取り組んでいく」と挙げていたが、職員間で何か変化があれば、毎日のミーティングや、月一回のケア会議にて都度話し合いを行い、各利用者のADLに合わせたケアを行う事ができていた。今年度は、ケア会議をほぼ毎月開催することができ、対面式で行うことによって職員同士の連帯感を高め、意見交換や検討の場として十分に機能していたと思う。

（計画）

利用者との日々の関わりの中で感じ取った利用者の心身の状況を職員が汲み取る事で、利用者及び家族の意向を尊重した介護計画の実践・ケアは行う事ができていた。

（基本サービス）

食事：利用者の好みの把握や、季節の食材を使い、秋祭り・敬老会等をはじめとした行事食の提供を行う事で利用者の喜ぶ姿を観る事ができ、楽しみのある食事の提供を行う事は出来ていた。

昨年度に起きた誤薬については、スタッフによる、薬を渡す前の呼名確認、食後に服薬される方には職員同士で周知し合う等、誤薬防止の為の対策・検討の効果もあり、今年度、発生数が減少傾向にある。

以降も職員全員が危機管理の意識を持ち、絶対に誤薬は起こさないよう、誤薬防止マニュアルの周知徹底を継続していく。

入浴：一般浴、リフト浴、機械浴を利用者個別の ADL に合わせ、適宜入浴形態を変更し対応出来ていた。また、入浴時や更衣時に皮膚確認を行う事で、早期に皮膚疾患を発見し、状態悪化を防ぐ事ができていた。

排泄：羞恥心や安全・プライバシーに配慮して排泄介助を行う事で、利用者に気兼ねや羞恥心を与えないよう、排泄ケアを行う事が出来ていた。また、トイレ介助や P・WC 介助を行う事で ADL の維持・向上にも努めている。

看護職員との連携により、排便コントロールの把握や排便の有無の報告もできしており、各利用者が排便コントロールを行う事は出来ていた。

整容：洗顔や口腔ケアは各利用者の状態に応じ、個別に適切な用具を使用し行う事ができていた。

散髪も月 1 回の散髪ボランティアを依頼し、利用者の髪の伸び具合に合わせて計画的に実施していた。更衣もそれぞれの生活スタイルに合わせてパジャマに更衣を行うなど、実施は出来ていた。

処遇改善：利用者の願いや思いを日頃の会話の中や生活歴・趣味などから汲み取り、叶えられるよう取り組みを行った。数名の方ではあるが、趣味や好きな事を時々だが行ってもらえる事はできていた（歌や毬作り等）。

面会規制への対応については、昨年度と同様に、周辺地域の感染状況と併せて適宜規制内容を変更し対応を行った。

12 月にはノロウイルスによるクラスターが発生し、コロナやインフルエンザのクラスターとも異なる対応を迫られる年度となった。来年度に向け引き続き、感染対策の徹底と、感染者が出た場合の適切な対応を職員全員で共有し、多様な感染症に対応できる体制づくりを行っていく。

令和7年度 特養行事实績

月	実施日	行 事	場 所 等
4 月	4月7日	故郷訪問	内野・芦北方面
5月	5月14日	こいのぼり・バラ園見学	四季彩前・水俣川 ・ エコパーク水俣
		故郷訪問	赤崎方面
6月	感染症予防の為、中止	運動会	地域交流館
	6月22日	故郷訪問	竹中地区
7月	7月23日	七夕・そうめん流し	食堂
	7月15日	寒川そうめん流し	寒川水源
	7/13	故郷訪問	平国・辻方面
8月	9月11日	ぶどう狩り	山門ぶどう園
		故郷訪問	水俣方面
9月	9月17日	敬老会	リハ室
	9月11日	ぶどう狩り	山門ぶどう園
	9月24日	コスモス見学	中尾山 ※未開花時、町内ドライブに変更
	9月28日	故郷訪問	染竹・大泊方面
10月	10月29日	秋祭り	リハ室・喫茶コーナー、中庭
		故郷訪問	浜崎・小津奈木地区
11月	11月8日	ふれあい祭り見学	津奈木町（B&Gグラウンド）
	11月1日	バラ園見学	エコパーク水俣
	11月26日	焼き芋	中庭
	11月16日	紅葉見学	重盤岩（舞鶴公園）
12月	ノロウイルスで中止	忘年会&クリスマス会	食堂・リハ室
	12月26日	もちつき	玄関前
	12月26日	門松作り	玄関前
1月	1月12日	初詣	水俣八幡神社
	ノロウイルスで中止	新年会	食堂・デイホール
	1月9日	どんどや	南町前畑
2月	2月3日	節分	リハ室
3月	3月3日	ひな祭り	リハ室
	3月22日	故郷訪問	古中尾方面
	3/7 3/31	桜見学ドライブ	3/7御立岬 3/31重盤岩

令和7年度 特養(従来型)利用実績

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	0	0	2	60	6	180	14	420	14	331	36	991	94.38%
5月	0	0	2	62	5	155	15	440	13	393	35	1050	96.77%
6月	0	0	2	60	5	150	15	429	13	367	35	1006	95.81%
7月	0	0	2	62	6	154	15	441	12	338	35	995	91.71%
8月	0	0	2	62	5	138	16	496	11	285	34	981	90.41%
9月	0	0	2	60	4	97	15	450	13	351	34	958	91.24%
10月	0	0	2	62	5	155	14	421	14	377	35	1015	93.55%
11月	0	0	2	60	6	161	13	390	15	450	36	1061	101.05%
12月	0	0	2	62	6	185	12	367	16	477	36	1091	100.55%
1月	0	0	2	62	7	157	12	351	14	419	35	989	91.15%
2月	0	0	2	56	5	131	13	364	14	362	34	913	93.16%
3月	0	0	2	62	6	151	13	403	15	446	36	1062	97.88%
合計		0		730		1814		4972		4596		12112	94.81%

稼働率 94.81%

令和7年度 ショートステイ年間利用実績

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	0	0	0	0	10	100	12	103	3	44	1	8	2	9	28	264	80.00%
5月	0	0	0	0	10	107	15	107	3	52	1	14	2	8	31	288	84.46%
6月	0	0	0	0	8	115	11	88	3	54	2	36	1	6	25	299	90.61%
7月	0	0	0	0	9	91	12	87	6	32	2	32	2	9	31	251	73.61%
8月	0	0	0	0	7	97	11	93	4	25	2	22	2	9	26	246	72.14%
9月	0	0	0	0	6	66	11	113	7	53	2	27	2	9	28	268	81.21%
10月	0	0	0	0	5	46	12	118	7	75	1	22	2	9	27	270	79.18%
11月	0	0	0	0	6	52	12	123	7	70	2	26	2	9	29	280	84.85%
12月	0	0	0	0	5	33	11	72	7	65	1	8	2	6	26	184	53.96%
1月	0	0	0	0	5	44	11	76	6	52	2	8	2	16	26	196	57.48%
2月	0	0	0	0	6	43	8	92	6	54	2	16	2	9	24	214	69.48%
3月	1	2	1	6	8	48	6	76	6	65	2	15	2	17	26	229	67.16%
合計	1	2	1	6	85	842	132	1148	65	641	20	234	23	116	327	2989	74.45%

稼働率:74.45%

令和7年度事業報告

ユニット よらんかな

(生活相談員部門)

令和7年度の入退所については、退所11件（内・看取り8件）、入所10件と例年よりやや増加傾向にあった。待機者減少もあり、入所までに時間を要し、空床が長期化し稼働率低下に繋がっているという課題がある。看取りによる退所は自然なことである為、疾患の悪化による長期入院やADL低下による臥床時間の長期化をできる限り避け、本人らしく、本人のペースや想いを大切にし、楽しい・快適と感じる時間が多く過ごして頂けるよう、全職種で取り組んでいきたい。また、面会制限がある中、ご家族と過ごす時間も大切にできるよう、面会要望や自宅への外出機会確保にも全職員で協力し取り組んでいきたい。

(介護支援専門員部門)

今年度の新規入居者10名はいずれも入所前に面談することが出来た。ケアプラン作成においては、6ヵ月毎にご家族と担当者会議を実施し見直しを行った。ご家族が遠方や参加できなかった場合はケアプランを郵送しご確認後署名を頂いた。新規入所の場合、3ヵ月以内に再度見直しを行うことで新しい環境での課題把握を早期に行うことが出来た。モニタリングは毎月のミーティング時に実施し、達成状況やADL状況を確認している。入院等で状態変化がみられた際には随時見直しを行った。目標設定について、個別性や具体性にやや欠けていた部分があったためアセスメントをしっかり行い本人の意向や疾患・認知症を考慮したケアプランを各専門職と連携し取り組むようにしたい。今年度の看取りケアは8名であったが、ご家族・スタッフと共に最期まで寄り添うことが出来た。

(介護部門)

御家族同席での担当者会議再開により、入居者の生活歴や思いなど直接聞き取ることによってそれを日々の支援に取り込み、またご家族と顔の見える関係性の構築ができたと思います。全体的なADL低下により苑外行事の計画は少なかったが、苑内で楽しんで頂ける行事をみんなで考え、季節を感じて頂ける努力ができたと思います。インシデント・アクシデント件数については減少傾向にあるものの、単に良い事と捉えず、職員の気付きに対する意識の低下もあると考えます。また、スピーチロックに関してはまだ改善できていない状況にありますが、少しずつ注意し合える関係性ができている為、引き続き言葉遣いへの意識を高め、入居者との信頼関係を大切にしながら笑顔で充実した生活が送って頂けるよう努めていきたいと思っています。

令和 7年度 よらんかな利用人員 (増減) (実人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	6	11	13(-1)	30
5月	0	0	6	10	13(-1)	29
6月	0	0	6	11(+1)	12(-1)	29
7月	1(+1)	1(+1)	6	12(-1)	10	30
8月	0	1(+1)	7	11(-2)	10	29
9月	0	2	9(+2.-1)	8	11	30
10月	0	2	8	9(+1)	11	30
11月	0	2	7	10	11	30
12月	0	2	7	10	11(-1)	30
1月	0	2(-1)	7	10(-1)	10	29
2月	0	1	6	10(+1)	12(+1)	29
3月	0	1	6	11(+1.-1)	12	30

(延べ人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
4月	0	0	180	297	388	865	96.1%
5月	0	0	186	266	379	831	89.3%
6月	0	0	180	293	334	807	89.6%
7月	0	14	186	331	295	850	91.3%
8月	0	15	217	310	297	839	90.2%
9月	0	60	239	232	315	846	94.0%
10月	0	62	240	252	332	886	95.2%
11月	0	60	210	300	324	894	99.3%
12月	0	42	215	310	339	906	97.4%
1月	0	31	205	290	310	836	89.8%
2月	0	28	168	262	332	790	94.0%
3月	0	31	186	322	372	911	97.9%
合計	0	343	2412	3465	4017	10261	93.7%

新規入居 10名、退所 11名、利用人員 40名 延べ日数 10,261 日 稼働率 93.7 %

1. 入院による空床 218日 (入院延べ 12名)

2. 入・退所による調整空床 471日

令和7年度ユニット行事報告

	年月日	行事	場所
1	4月2日	花見	特養食堂前
2	4月10日	バーベキュー	中庭
3	4月30日	つつじ見学	御立岬公園
4	5月中6日間	故郷訪問	津奈木町・水俣・芦北
5	6月11・12日	紫陽花見学	津奈木町役場前～湯浦
6	6月25日	運動会	地域交流館
7	7月30日	屋台の日	各町リビング
8	8月27日	そうめん流し	地域交流館
9	10月3日	敬老会	地域交流館
10	10月15日	BBQ	南町庭
11	〃	花火大会	南町駐車場
12	11月5日	芋掘り	東町畑
13	11月11日	干し柿作り	東町リビング
14	11月19日	焼き芋会	南町庭
15	11月29日	ISUIフェスティバル	水俣エコパーク
16	12月3日	紅葉見学	干拓～石木田～水俣
17	12月24日	Xmas・誕生会	南町リビング
18	12月26日	餅つき	支援センター
19	1月7日	新年会	各町リビング
20	1月9日	どんどや	南町畑
21	2月4日	節分	各町リビング
22	3月4日	ひな祭り	各町リビング
23	3月11日	焼き芋会	東町玄関
24	3月18日	おはぎ作り	西町リビング

その他

- ・毎月第4水日曜日午後より誕生会
- ・散髪ボランティア「ガーデン」様
- ・職員配置によりおやつ作り等実施
- ・天候良好な日には中庭ウッドデッキでの茶話会

令和7年度 看護部門(医療業務)

利用者個人のライフスタイルを尊重して、現在の健康状態とADLの維持を目標とし介護士、栄養士などの他職種と連携をとり、目標達成に向けてのケアの充実を図りました。また、疾患に関しては嘱託医との情報共有を密に行い、早期発見と早期対応を念頭におき取り組み、本人や家族の意向に沿った医療(受診等)を提供することができたのではないかと考えます。

褥瘡に関してはオムツ交換時や入浴時などにスキンチェックを必ず行い早期発見に努め、皮膚剥離発見後は嘱託医と連携し適切な処置を実施でき早期治療により、褥瘡状態になることなく治癒できました。今後も早期発見、早期治療を目標に褥瘡対策に取り組んで参ります。

苑での看取りにあたり、本人のQOLを尊重し、本人、家族とのコミュニケーションを大切にしながら、看護・介護・その他の職種と連携し、清潔保持と苦痛の緩和に努めました。また、ご家族と話し合いながらケアを行うことで、納得のいく形での看取りを行うことができたのではないかと考えます。

①受診・入退院の状況

【特養】※R7年4月1日からの延べ件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R6年度
外科	0	0	3	2	0	1	0	0	0	1	2	0	9	6
整形外科	2	4	0	0	0	0	1	0	4	2	0	2	15	1
呼吸器科	2	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
代謝内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
循環器科	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	7
消化器科	0	2	1	0	0	1	1	3	2	0	2	0	12	8
泌尿器科	2	2	1	1	1	2	2	2	3	1	1	1	19	7
婦人科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
皮膚科	2	1	1	1	4	2	1	2	4	1	3	1	23	14
眼科	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	1	7	4
耳鼻科	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	1	8	2
歯科	0	1	0	0	0	3	3	0	1	0	3	2	13	5
精神科	1	2	1	2	2	0	2	0	2	0	2	0	14	17
救急外来	3	0	1	0	1	1	1	1	3	1	0	0	12	3
計(件)	15	15	10	8	12	14	12	11	20	8	13	9	147	82

入院期間	入院者数
1日～30日	13
31日～60日	2
61日～90日	3
90日以上	0
現在入院中	0
計(名)	18

入院疾患名	件数
脳梗塞	1件
脳出血	1件
肺炎	4件
胆嚢炎	3件
総胆管炎	1件
総胆管結石	1件

入院疾患名	件数
心不全	2件
蜂窩織炎	1件
低カリウム血症	1件
直腸癌	1件
頸部・大腿部骨折	1件
CPA	1件

入院日数合計	504日
--------	------

【ユニット】※R7年4月1日からの延べ件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R6年度
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	14
呼吸器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5
神経内科	2	0	1	2	1	1	1	1	0	2	1	1	13	9
神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
代謝内科	1	0	1	1	2	1	2	2	1	2	1	2	16	5
循環器科	2	2	4	2	3	1	1	2	1	2	2	2	24	23
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
泌尿器科	1	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	7	9
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	1	0	0	2	1	1	2	3	1	11	9
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
歯科	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0	6	4
精神科	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	8
救急外来	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
計(件)	9	4	9	9	6	7	8	8	3	9	9	8	89	97

入院期間	入院者数
1日～30日	11
31日～60日	1
61日～90日	0
90日以上	0
現在入院中	0
計(名)	12

入院疾患名	件数
肺炎	3件
心不全	1件
慢性うっ血性心不全	3件
脳梗塞	2件
脳出血	1件
てんかん	1件

入院疾患名	件数
ペースメーカー電池交換	1件

入院日数合計	218日
--------	------

②健康診断実施状況

【利用者】

項目	8月	毎月	備考
体重測定	○	○	体重測定は1回/月と必要時に実施。
血圧測定	○	○	血圧測定は必ず1回/月と体調不良時等に実施。
X線検査	○	△	X線検査は1回/年実施。
採血	○	△	採血は1回/年と要検査時に実施。

※結果を嘱託医確認しフォローを行っている。

【職員】

項目	8月	2月	備考
体重測定	○	○	1回/6ヶ月実施。
血圧測定	○	○	1回/6ヶ月実施。
X線検査	○	△	X線検査は1回/年実施。
採血	○	○	夜勤勤務がある職員のみ2回/年実施。その他は1回/年実施。
検尿	○	○	夜勤勤務がある職員のみ2回/年実施。その他は1回/年実施。
視力	○	△	視力検査は1回/年実施。
聴力	○	△	聴力検査は1回/年実施。

※異常が認められたものについては医療機関の受診、フォローを行っている。

健康診断受診人数

【利用者】

8月	
特養	32
ユニット	26
計(名)	58

【職員】

8月	
特養	27
ユニット	27
G・H	18
計(名)	72

2月	
特養	9
ユニット	13
G・H	10
計(名)	32

③新型コロナワクチン接種状況(事業所全体)

【利用者】

接種人数	41名
未接種	43名

【職員】

施設では行わず任意で他の医療機関にて補助対象者・希望者のみ接種

④新型コロナ感染者 発症状況(事業所全体)

【利用者】

	男	女	計
人数	3	3	6
点滴	3	3	6
入院	0	0	0

【職員】

	男	女	計
人数	2	8	10
入院	0	0	0

⑤インフルエンザワクチン接種状況(事業所全体)

【利用者】

接種人数	71名
未接種	13名

【職員】

接種人数	85名
------	-----

⑥インフルエンザ感染者 発症状況(事業所全体)

【利用者】

	男	女	計
人数	0	2	2
点滴	0	0	0
入院	0	0	0

【職員】

	男	女	計
人数	2	3	5
入院	0	0	0

⑦ノロウイルス感染者 発症状況(事業所全体)

【利用者】

	男	女	計
人数	3	18	21
点滴	3	18	21
入院	0	1	1

【職員】

	男	女	計
人数	2	4	6
入院	0	0	0

⑧看取り状況(事業所全体)

【特養】

	男	女	計
看取り	1	3	4
急変	0	1	1

【ユニット】

	男	女	計
看取り	2	6	8
急変	0	1	1

【その他医療機関】

(特養)

	男	女	計
死亡者	1	3	4

(ユニット)

	男	女	計
死亡者	0	2	2

令和7年度 事業報告

津奈木町デイサービスセンター あけぼの苑

1、年間稼働日数 310日稼働 (台風休業 0日
(感染休業 0日

2、一日平均稼働数 19.55人 / 日

3、利用実数(年間延べ人員)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和6年度	592	462	2,363	2,511	105	186	66	6,288
令和7年度	459	438	2,013	2,053	803	211	84	6,060
前年比	0.78	0.95	0.85	0.82	7.65	1.13	1.27	0.96

4、介護度別利用割合(%)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
令和6年度	9.4	7.3	37.6	40	1.7	3	1
令和7年度	7.6	7.2	33.2	33.9	13.2	3.5	1.4

5、計画

介護保険部門

- ・感染対策に気を付けていたが、年末にノロウイルスにて数人感染あったが、早めの対応で早期復帰できた。
- ・他事業所との連携もスムーズに行え、ご利用者の容態に合わせてサービス継続が行えた。
- ・要介護の重症化やサービス負担、在宅生活での不安も増加しており、ご家族や関係事業所との協力により都度サービス内容変更に対して早期に行動、対応できていた。
- ・要介護者の高齢化、疾病にて、入院、入所が多く観られたので、実績の低下につながっていると思われる

総合事業部門

- ・楽しみ、生きがいの一つとして、サービス利用の継続につながっている。
- ・利用継続して頂き、自立支援や残存機能を活性化することで、ADLの維持、向上が観られ、在宅生活に繋がっている。
- ・苑外活動や生きがい活動を増やしていく中で、楽しみを持ってご利用頂いている。

6、まとめ

- ・要介護の重度化による施設入所、疾病の悪化による長期入院により、稼働率の低下につながっている。
- ・感染症の情報収集や、事前の検査により苑内に入る前に対策できていたが利用当日の体調の変化に対して早期対応したことにより、感染も数人にとどめることができた。
- ・関係する各事業所や医療との連携により、体調変化の早期発見、早期対応が行え安全に配慮出来ていた。
- ・身体能力低下や認知症の重度化により、運営にあたっての負担も大きくなってきている。

令和7年度通所介護事業利用実績（総合事業含む）

【利用実人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	7	7	9	9	8	10	10	11	12	11	13	10	117
要支援2	7	7	6	5	5	5	5	4	5	5	7	11	72
合計	14	14	15	14	13	15	15	15	17	16	20	21	189
要介護1	25	24	25	26	23	21	17	16	18	18	19	17	249
要介護2	21	20	21	19	17	19	18	18	19	19	17	19	227
要介護3	4	5	4	6	7	6	6	7	6	7	4	5	67
要介護4	1	1	2	1	1	1	3	3	3	2	2	2	22
要介護5	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	1	20
合計	53	52	54	54	49	49	46	46	48	47	43	44	585

【利用延べ人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	30	30	33	36	28	46	41	39	50	42	46	38	459
要支援2	40	31	34	36	32	31	37	24	32	30	44	67	438
合計	70	61	67	72	60	77	78	63	82	72	90	105	897
要介護1	197	214	184	202	210	171	149	128	143	132	140	143	2,013
要介護2	207	227	231	187	153	166	152	133	145	156	140	156	2,053
要介護3	38	36	35	66	78	85	78	80	71	91	69	76	803
要介護4	13	12	16	11	5	9	26	24	34	22	21	18	211
要介護5	6	6	6	5	3	9	17	16	7	3	3	3	84
合計	461	495	472	471	449	440	422	381	400	404	373	396	5164
入浴介助者 (介護保険者)	390	414	410	404	391	371	371	332	357	359	333	344	4,476
延べ利用人数	531	556	539	543	509	517	499	444	482	476	463	501	6,060
営業日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310

今年7年度 行事報告書

津奈木町サービスセンター あけぼの苑

4月	お花見 (1～3日) 誕生会 (13日～19日)	10月	誕生会 (20日～25日)	定例行事 各種室内ゲーム
5月	誕生会 (19日～24日) バラ園見学 (7、8、12、13日)	11月	誕生会 (17日～22日) バーベキュー昼食 (21日) ISUI フェスティバル (29日)	カレンダー作成
6月	運動器機能測定 (9日～14日) 誕生会 (23日～28日) 防災総合訓練「火災通報訓練」 (18日)	12月	運動器機能測定 (15日～20日) 誕生会 (22日～27日) 忘年会 (29日、30日)	
7月	誕生会 (14日～19日) そうめん流し (寒川水源亭) (31日)	1月	新年会 (5日～7日) 初詣 (5日～10日) 誕生会 (19日～24日)	
8月	そうめん流し (寒川水源亭) (1、5、6日) 誕生会 (18日～23日)	2月	節分豆まき (3日) 誕生会 (16日～21日)	
9月	誕生会 (15日～20日) 敬老会 (17日) 津奈木中学校介護体験 (18日、19日) 縁日ゲーム大会 (18日、19日)	3月	誕生会 (9日～14日) 運動器機能測定 (16日～21日) 花見 (30日～4月1日)	

令和 7 年度 事業報告書

あけぼの苑
調理・栄養

〈目標〉

健康維持・増進、疾病予防のほかに、過剰摂取による健康障害を予防し、活力ある生活を送るため利用者に食の楽しみを提供できるよう努めた。また、個々人に合った食事の提供を行い、個別対応として更に充実した食事サービスに努めることができた。

〈継続事業〉

1.非常災害時の対応

自然災害等により通常の食事提供が困難となった場合に備え、食事の提供がスムーズに行えるようマニュアルの見直しを行った。

また、備蓄食品、備品等の管理を行い、不足分の補充を行った。

2.栄養ケアの実施

関連職種との連携、調整を行い、個々人に最適な栄養ケアを行うため、栄養ケアマネジメントを実施した。

健康診断結果の他、定期的に体重測定を実施し、体重の推移観察を行い、栄養状態の把握を行った。また、嚥食状況の観察を行い、食事形態や食事量の調整、自助具の活用等を多職種で協議し、利用者に合わせた食事の提供を行うことができた。

3.経口維持への取り組み

利用者が重度化する傾向にある中で誤嚥性肺炎を予防し、最期まで口から食べる楽しみを得られるように多職種による支援の充実を図ることができた。

4.適温での食事の提供

食事をおいしく食べて頂くため、調理業務等の見直しを行い、適温での食事の提供が行える様、努めた。

5.行事食・イベント食の実施

毎月、行事食の提供を行い、変化に富んだ季節感のある食事の提供を行うことができた。デザートバイキング等のイベント食は感染症及び業務の都合により実施することができなかった。

6.衛生、安全管理の徹底

検便・健康診断・水質検査・保存食管理・温度管理・衛生点検等は継続して行うことができた。

令和 7 年度
あけぼの苑介護福祉サービスセンター 事業報告

＊基本方針に基づき、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、適切な医療及び介護サービスの多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供できるようケアプラン（介護サービス計画）を作成することができた。

＊利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように各種サービス事業所や医療機関等と連携を図り、適切なサービスが提供できるよう努めることができた。

＊利用者の心身の状況に合わせた福祉用具の選定や住宅改修等の環境整備を行うことで、安全で安心な在宅生活が送れるよう支援することができた。

＊利用者が医療機関に入院したときは、情報シートを作成し医療機関へ提出することで情報共有を図り、退院時には積極的にカンファレンスに参加するなど顔の見える関係性を作り、利用者が退院後に安心安全にサービスが利用できるよう調整に取り組んだ。（入院時情報連携加算Ⅰ及びⅡ、退院・退所加算算定）

＊定期的に行われる地域ケア会議にて、在宅高齢者の困りごとを地域の課題とした事例を提出し、高齢者の食の確保及び離れて生活する家族の負担軽減を目的に、配食サービス導入に向けて、行政や包括支援センター、民生委員等と連携を図りながら、現在途中ではあるが取り組んでいる。

＊令和 8 年 3 月に熊本県介護支援専門員協会水俣・芦北支部の研修（災害発生時における連携体制の確認と実践力向上を目的とした災害対応電話訓練）に参加し、災害時の電話連絡の難しさや情報共有の重要性を実感する機会を持つことができた。

＊定期的にある研修会（居宅部会）においては、昨年までリモートでの開催で 3 人ともに参加していたが、7 年度から集合型に変更になったことで移動距離の時間を少しでも通常業務の時間に充てることができるようにと、回しで一人ずつの参加とし、情報共有を行うことで通常業務の時間の確保に努めることができた。

＊介護給付に関しては、要介護 1・2 の延べ人数が 123 人減、要介護 3～5 の延べ人数が 86 人増、特に要介護 3 が 91 人増となっており、原因としては、①年々、歳を重ねるにつれて身体機能面や認知機能面の低下が進行し介護度が重くなった ②身体機能面は問題ないが認知症状の進行によるもの、と考えられる。

＊予防給付に関しては、要支援 1 の延べ人数が 9 人増となり、要介護者の配偶者を一緒に担当するケースが増えたことや要支援 2 から要支援 1 へ変更となったことが原因であると思われる。要支援 2 の延べ人数は 54 人減となり、全体数としての延べ人数は 45 人減となった。

＊目標達成率 介護給付 96.3% 予防給付 75.0% であった。

令和7年度 居宅介護支援事業利用実績

◎月別給付管理数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（人）
要介護1	42	43	44	47	44	220	36	36	37	37	37	50	673
初回加算	3	3	2	1	0	2	1	2	0	1	2	3	20
退院・退所加算	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入院時情報連携加算（Ⅰ）	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	0	1	6
入院時情報連携加算（Ⅱ）	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	1	7
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	23	23	23	22	20	24	24	23	27	27	28	29	293
初回加算	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	1	6
退院・退所加算	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
入院時情報連携加算（Ⅰ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算（Ⅱ）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	9	11	10	14	12	12	15	17	15	14	11	11	151
初回加算	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
退院・退所加算	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
入院時情報連携加算（Ⅰ）	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4
入院時情報連携加算（Ⅱ）	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	1	1	4	3	3	2	3	3	2	2	2	4	30
初回加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算（Ⅰ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算（Ⅱ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	2	3	2	1	2	2	2	2	3	3	2	1	25
初回加算	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退院・退所加算	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
入院時情報連携加算（Ⅰ）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
入院時情報連携加算（Ⅱ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護者合計（人）	77	81	83	87	81	81	80	81	84	83	80	85	938
初回加算合計（人）	3	4	4	2	1	2	3	3	3	0	3	5	33
退院・退所加算合計（人）	0	2	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	7
入院時情報連携加算（Ⅰ） 合計（人）	0	1	1	1	2	0	0	0	2	3	0	3	13
入院時情報連携加算（Ⅱ） 合計（人）	1	0	0	1	0	1	1	1	1	4	1	3	14
緊急時カンファレンス加算 合計（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎予防給付者数

要支援1	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	45
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要支援2	10	10	7	7	7	6	6	7	7	7	7	9	90
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
要支援者数合計（人）	14	13	10	10	10	10	10	11	11	11	11	14	180
初回加算合計（人）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4

令和 7 年度事業報告書

グループホーム あけぼの

【管理者部門】

- * 運営推進会議を（ 4/23 6/25 8/27 10/29 12/17 2/25 ）年 6 回の開催行なった。
- * 防災訓練実施（ 6/17 通報避難訓練 11/18 夜間想定通報避難訓練）他台風接近による大雨水害等自然災害に備えての訓練を兼ねて、10/23 苑への避難実施行なった。
- * ご家族への近況報告兼お便りを月 1 回発行できた。
- * 令和 7 年度の退所者は、他施設への入所 1 名と長期入院による 2 名の計 3 名の退所であった。新規入所者は介護 1 と介護 2 と介護 3 が 1 名ずつの計 3 名の入所であった。

【計画作成担当部門・介護部門】

- * 自己評価・外部評価を実施し、ケアの振り返りや課題検討行なった。
- * 担当者会議を行ない施設サービス計画内容を説明し同意を行なった。ご家族へ施設サービス計画書に署名押印頂いた。
- * 感染症状況みながら外出行事も行ない、入居者の気分転換を図った。

【行事報告】

- * 4 月 花見（鎧ヶ崎）
- * 5 月 端午の節句（行事食）・バラ園見学
- * 6 月 あじさい見学
- * 7 月 七夕飾り作り・そうめん流し
- * 8 月 盆団子作り
- * 9 月 敬老会（昼食バイキング）・月見団子作り
- * 10 月 コスモス見学
- * 11 月 紅葉見学・干し柿作り
- * 12 月 忘年会・クリスマス会
- * 1 月 新年会・初詣で
- * 2 月 節分（豆まき）
- * 3 月 ひな祭り（行事食）・彼岸団子作り
- * 誕生会（入居者の誕生月）
- * 火災通報避難訓練（6 月・11 月）
- * 自然災害想定での避難訓練（10 月）
- * 自己評価及び外部評価

令和7年度 グループホームあけぼの年間利用実績

	要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合 計	
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
4月	1	30	3	90	5	150	4	120	5	150			18	540
5月	1	31	3	93	4	124	4	124	6	186			18	558
6月	1	30	3	90	4	120	4	96	6	180			18	516
7月	2	62	3	93	3	93	3	77	6	186			17	511
8月	2	62	4	104	3	93	3	93	6	186			18	538
9月	2	60	3	90	3	90	5	101	6	180			19	521
10月	2	62	2	62	3	93	4	124	6	186	1	31	18	558
11月	2	60	2	57	3	90	4	120	6	177	1	30	18	534
12月	1	31	3	93	3	93	3	81	5	155	1	31	16	484
1月	1	31	3	93	3	93	4	97	4	124	2	62	17	500
2月	1	28	3	84	3	84	4	98	4	112	2	56	17	462
3月	1	31	3	93	4	122	3	90	4	124	3	93	18	553
合計		518		1042		1245		1221		1946		303		6275

利用定員 18人					年間利用実人員 21人		
介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人員	2	4	5	5	6	3	
延人員	518	1042	1245	1221	1946	303	6275
					稼働率 95.5 %		

家賃	年間延べ 214.5 ヶ月
光熱費	年間延べ 208 ヶ月

食事提供(食数)	朝食	昼食	夕食	合 計
	6267	6256	6269	18792

令和7年度 委員会・職員研修等報告表

	委員会等	施設管理	施設内職員研修	月例行事・その他
4月	・研修委員会4/25・感染対策委員会4/15 ・安全管理対策委員会4/17 ・環境美化委員会4/9 ・地域貢献活動委員会4/22 ・医療的ケア委員会4/21 ・身体拘束適正化虐待防止委員会4/8	自家発電装置点検(毎月) 電気設備点検(毎月)		・職員会議(毎月第4金曜日) ・特養ケア会議(毎月第4火曜日) ・ユニットリーダー会議(毎月23日) ・各町スタッフミーティング(毎月)
5月	・労働衛生委員会5/27 ・広報委員会5/13 ・給食委員会(従来型5/13・ユニット型5/28) 防災対策委員会5/15	屋上排水口清掃 苑周囲草刈 浄化槽清掃 冷暖房フィルター清掃	5/29 ・感染症・食中毒研修 施設で起きやすい食中毒と防止対策 事故報告について(各事業所)	・入所検討委員会(10回実施) [6/4・7/2・8/6・9/3・10/8・11/5 12/3・1/7・2/4・3/4]
6月		避難訓練訓練(災害・火災) 苑周囲草刈 冷房切り替え	6/18通報避難訓練(火災) 消防署立ち合い	・利用者誕生会(毎月) ・各職種外部研修会(随時) 5/21～6/6 認知症基礎研修 7/2～4、7/23～24.30、8/19.9/3
7月	・身体拘束適正化虐待防止委員会7/8 ・安全管理対策委員会7/17 ・医療的ケア委員会7/23 ・環境美化委員会7/9 ・労働衛生委員会7/28	水質検査(水道水) 貯水槽清掃	7/31 健康診断結果分析 高齢者虐待防止について 認知症研修(事例検討)グループワーク	認知症実践者研修 8/6、10/28、12/17 認知症ケア研修 8/19 デイサービス職員研修 10/22 福祉サービス苦情解決研修
8月	・地域貢献活動委員会8/20 ・給食委員会(従来型8/20・ユニット型8/21)	窓ガラス拭き 苑周囲草刈 屋上排水口清掃	腰痛予防	9/18 社会福祉施設労務安全衛生管理講習 9/19みんなで学べる介護セミナー 「急変対応のコツを学ぶ」 10/10 ノーリフティングケア研修会
9月	・感染対策委員会9/26 ・広報委員会9/9 ・労働衛生委員会9/22	苑周囲草刈	誤嚥性肺炎と口腔ケアの必要性 (書面回覧)	11/18 熊本県老人福祉施設研究大会 12/5 みんなで学べる介護セミナー 「食事介助のコツを学ぶ」 12/12 排泄ケア研修
10月	・身体拘束適正化虐待防止委員会10/14 ・安全管理対策委員会10/16 ・医療的ケア委員会10/27 ・環境美化委員会10/8	冷暖房フィルター清掃 暖房切り替え	10/30 各事業所より事例発表 ガウンテクニックと嘔吐物処理の演習	2/27 リーダー職員研修会 2/27 介護セミナー 「シーティングのコツを学ぶ」
11月	・感染対策委員会11/19 ・防災対策委員会11/14 ・労働衛生委員会11/25 ・給食委員会(従来型11/4・ユニット型11/4)	屋上排水口清掃	11/27 アンガーマネジメントについて 外部講師:宮本隆文氏 11/12通報避難訓練(火災)	
12月	・環境美化委員会12/10	大掃除・窓ガラス拭き		(健康診断)
1月	・身体拘束適正化虐待防止委員会1/13 ・安全管理対策委員会1/15 ・医療的ケア委員会1/19 ・広報委員会1/7 ・地域貢献活動委員会1/20		1/29 プライバシー研修(ユニット) R7.4月～12月までの各部署事故報告件数報告 老人福祉施設研究大会研修報告 倫理及び法令順守	入居者8月 全職員8月、夜勤者2月 (腰痛検査) 介護職員8月・2月
2月	・給食委員会(従来型2/5、ユニット2/5)	屋上排水口清掃 非常用放送設備点検 消防用設備点検		体重測定 毎月第2水曜日 各種予防接種(入所時、11月)
3月	・感染対策委員会3/18 労働衛生委員会3/23	3/31夜間通報訓練(大雨警報発令)	3/26 各事業所の令和8年度の方針と計画 人感センサー・センサーマットの正しい活用法と適切な使い方 R7年度の苦情・要望内容の年間報告と対応	グループホーム 運営推進会議(偶数月) 避難通報消火訓練(6月・11月) 自然災害時避難訓練(10/23)